

原規規発第 2208176 号
令和 4 年 8 月 17 日

国立大学法人東京大学
学長 藤井 輝夫 殿

原子力規制委員会

令和 4 年度第 1 四半期の間実施した原子力規制検査（原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査）の結果の通知について

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和 32 年法律第 166 号）第 61 条の 2 の 2 第 1 項の規定に基づく令和 4 年度第 1 四半期の間実施した原子力規制検査（原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査）の結果について、同条第 9 項の規定に基づき、別添のとおり通知します。

国立大学法人東京大学
大学院工学系研究科原子力専攻
令和4年度(第1四半期)
原子力規制検査報告書
(原子力施設安全及び放射線安全に係る基本検査)

令和4年8月
原子力規制委員会

目次

1. 実施概要	1
2. 運転等の状況	1
3. 検査結果	1
4. 検査内容	1
5. 確認資料	2

1. 実施概要

- (1) 事業者名: 国立大学法人東京大学
- (2) 事業所名: 東京大学大学院工学系研究科原子力専攻
- (3) 検査期間: 令和4年4月1日～令和4年6月30日
- (4) 検査実施者: 東海・大洗原子力規制事務所
片岸 信一
検査補助者: 東海・大洗原子力規制事務所
高尾 和博

2. 運転等の状況

施設名	検査期間中の運転、操業、停止、廃止措置及び建設の状況等
東京大学原子炉	廃止措置中

3. 検査結果

検査は、検査対象に対して適切な検査運用ガイド(以下単に「ガイド」という。)を使用して実施した。検査対象については、原子力検査官が事前に入手した現状の施設の運用や保安に関する事項、保安活動の状況、リスク情報等を踏まえて選定し、検査を行った。検査においては、事業者の実際の保安活動、社内基準、記録類の確認、関係者への聞き取り等により活動状況を確認した。ガイドは、原子力規制委員会ホームページに掲載されている。

第1四半期の結果は、以下のとおりである。

3. 1 検査指摘事項等

検査指摘事項等なし

3. 2 検査継続案件

検査継続案件なし

4. 検査内容

4. 1 日常検査

(1) BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

1) 弥生施設非常用電源設備

(2)BR0010 放射線被ばくの管理

検査項目 放射線被ばくの管理(熱出力 500kW 未満)

検査対象

- 1)小型蒸発缶の開封と燃料スラッジのXRF測定

(3)BQ0040 安全実績指標の検証

検査項目 安全実績指標の検証

検査対象

- 1)令和3年度安全実績指標

4.2 チーム検査

なし

5. 確認資料

5.1 日常検査

(1)BO0010 サーベイランス試験

検査項目 標準的な検査

検査対象

- 1)弥生非常用電源設備

資料名

- ・非常用電源作動試験手順書
- ・弥生発電機点検記録 令和4年6月24日
- ・弥生施設非常用電源設備作動試験記録 令和4年6月24日

(2)BR0010 放射線被ばくの管理

検査項目 放射線被ばくの管理(熱出力 500kW 未満)

検査対象

- 1)小型蒸発缶の開封と燃料スラッジのXRF測定

資料名

- ・東京大学原子炉「弥生」燃料スラッジの再バッチ処理作業要領(対象:回収スラッジ)
2022年6月8日
- ・作業班構成と作業指揮体制 令和4年6月10日
- ・個人線量評価結果(全身及び手指TLD) 令和4年6月10日
- ・エリア2作業中の表面密度スミア 令和4年6月10日
- ・エリア2A、2B空気中の放射性物質濃度 令和4年6月10日

(3)BQ0040 安全実績指標の検証

検査項目 安全実績指標の検証

検査対象

1) 令和3年度安全実績指標

資料名

- ・東京大学大学院工学系研究科原子力専攻における放射線安全に係る安全実績指標(PI)について 令和4年5月13日
- ・個人線量計使用記録(TLD) 2021年4月
- ・外部被ばく測定記録 2022年3月
- ・排水記録(研究棟・原子炉棟) 2021年4月19日、7月5日
- ・放射線モニタ運転記録 R3年3月31日
- ・エアモニタチャート紙 2021.3.4～11.2

5.2 チーム検査

なし